

令和3年度福岡県高等学校総合体育大会テニス選手権大会開催注意事項 (新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン)

福岡県高等学校体育連盟テニス専門部

1 大会開催するにあたって

- (1) 大会会場への入場者の制限を行い、許可された者のみの大会とする。また試合・審判等の終了した選手は速やかに帰宅するものとする。
(入場制限が行いづらい会場の場合でも、コート周辺の観戦者をできるだけ制限するよう努める。)
- (2) 応援は、人と人との間隔は2 m以上の社会的距離をとる。
- (3) 大声での発声、声援、又は近接した距離での会話等は原則禁止する。
- (4) 引率者、送迎関係者も上記の内容を厳守する。
- (5) 各ブロック大会も含め、大会開催条件が整い実施予定であっても、その時点の感染状況に応じて(緊急事態宣言や県内の感染拡大など)、大会の急な中止又は延期等の対応することがある。

2 大会開催・実施時の感染防止策について

- (1) 安全な大会運営の観点から、感染拡大による休校解除直後の参加には慎重を期し、各校において学校長により安全が確認された場合のみ参加できるものとする。
- (2) チェックリストを大会会場に掲示し、参加選手、引率者、保護者、大会運営者それぞれの立場で、定期的を確認し、各事項がきちんと遵守されているか参加者を含む関係者全員が感染防止のために取り組み実施する。

3 大会参加者への事前連絡

- (1) 各校の引率者は、感染拡大防止のために以下の事項を遵守すること。
以下の事項に従わないなどの状況によっては、他の参加者の安全を確保する観点から、専門部より大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。
 - ① 各校の引率者は試合前に検温など健康状態の確認を行い、以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
 - ア 体調がよくない場合。(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
 - ② マスクを持参すること。(会場内及び会場までの往復では、会話の有無に関わらず原則としてマスクを着用すること。選手はプレマッチミーティングからマッチ終了後の挨拶までマスクを外すが、それ以外では必ず同様にマスクを着用すること)

- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④ 手洗い用のマイタオルを用意する。(共用は禁止する)
- ⑤ 他の参加者、大会関係者等との社会的距離(できるだけ2 m以上)を確保すること。
- ⑥ 大会中に大きな声で会話、応援等しないこと。
- ⑦ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑧ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会本部に速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(2) 大会当日の留意事項

- ① 大会本部前、トイレ手洗い場の他、テニスコート出入り口(コート毎に設置してもよい)にも手指消毒剤を設置し、テニスコートに入る選手は手指消毒を必ずするよう求めること。
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は会場内に入らないよう呼びかける。(状況によっては、感染が疑われる人の入場を制限する)
- ③ 参加者が距離をおいて並べるように目印を設置する。

(3) 大会参加者への対応

1) 体調の確認

大会当日に、参加者から以下の事項を記載した「健康観察票」を求める。

- ① 氏名(「年齢」、「住所」、「連絡先(電話番号)」については、参加校で把握し、必要が生じた場合、速やかに連絡が取れるようにする。※個人情報の取り扱いに十分注意する。)
- ② 大会当日の体温。
- ③ 大会前2週間における以下の事項の有無。
 - ア 平熱を超える発熱。
 - イ 咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状。
 - ウ だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)。
 - エ 嗅覚や味覚の異常。
 - オ 体重が重く感じる、疲れやすい等。
 - カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無。
 - キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

2) マスク等の準備

参加者がマスクを準備しているか確認する。(持っていない場合は専門部で用意したものを着用させる)

なお、選手・審判はプレマッチミーティングからマッチ終了後の挨拶までマス

クを外し※、それ以外は必ずマスクを着用させ、コートに入る監督・コーチは、常時マスクを着用するよう求める。

※競技中のマスクの着用は参加者の判断によるが、競技中にマスク（特に外気を取り込みにくいN95などのマスク）を着用している場合は、十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることに留意するとともに、適宜周知するよう配慮する。

3) 大会参加前後の留意事項

大会参加者は大会前後のミーティング等においても、3密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分配慮することを求める。

4) 厚生労働省「COCOA システム」の利用の推奨

大会参加者に厚生労働省「COCOA システム」の利用を推奨する。

(4) 部員又は部顧問（関係指導者）の感染が判明した場合の考え方

1) 大会前

- ① 部員又は部顧問の感染が判明した場合には、当該部員、顧問また、濃厚接触者と特定された者の来場は認めない。
- ② 個人戦出場者においては欠場とする。（その場合、ブロック予選においては補欠の繰り上げ出場を認める。出場のさせ方については、各ブロックで事前に各校に伝える。）
- ③ 団体戦出場者においては当該登録選手と補欠との入れ替えを認める。ただし、団体戦の最初の試合が行われた後は入れ替えを認めず、出場可能な登録選手が4名未満になった場合は、失格とする。

2) 大会期間中

- ① 発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。
- ② 当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。
- ③ 他の選手等への健康観察を徹底する。

※その後、新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各学校や行政機関の指示に従う。その経過等については、ブロック理事長を通じて高体連に報告する。県教育委員会と合議のうえ、その後の大会運営について中止する。

運営サイドの準備について

(1) 大会の主催者が準備等すべき事項

1) 手洗い場所

- ① 手洗い場には石鹼（ポンプ式が望ましい）を用意する。
- ② 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ③ アルコール等の手指消毒剤を用意する。

2) 更衣室、休憩所、待機スペース

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
(短時間の使用に留める)
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒する。
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

3) 洗面所

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する。
- ② トイレの蓋を占めて汚物を流すように表示する。
- ③ 手洗い場には石鹸（ポンプ式が望ましい）を用意する。
- ④ 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をする。
- ⑤ 参加生徒にはマイタオルの持参を求める。

4) 観客の管理

- ① 観客同士が密な状態にならないようにする。
- ② 声を出しての声援や大声での会話を控える。
- ③ 会場内では必ずマスクを着用する。
- ④ 来場する保護者等の学校関係者は各校が責任を持って管理し、指示に従わない場合は、専門部より途中退場を求める。

5) 必要最低限の人数で実施

- ① 選手：コートには出場選手以外は入れない。
ただし、個人戦シングルス出場者がヒッティングパートナーを必要とする場合は、選手あたり 1 名入場できるものとする。
※コートに入る際は、必ず手指消毒を行うこと。
- ② 競技役員・大会補助員：試合に必要な最低限の人数とする。
- ③ 観客：感染拡大の状況を鑑み、出場校の職員、部員（部員数が多い場合は、来場日や来場時間を分けるなどの工夫を求める）、出場生徒の保護者 1 名のみ
に制限する。（各ブロックにおいては、会場や部員生徒数の実情に合わせて更に制限を行う場合がある。逆に制限を緩める場合は、これによってコート周辺の密が生じることがないよう確認の上、必ず県専門委員長に報告し許可を受ける）
※部員や保護者等の制限は、会場内の人が集まる場所（コートサイドでの応援時など）で社会的距離（2 m、少なくとも 1 m）が取れるかどうかを目安とする。

6) 厚生労働省「COCOA システム」利用の推奨

会場内に「COCOA システム」アプリの QR コードを掲示し、利用を呼びかけ

る。

(2) 競技会場及び競技上の留意事項

基本的な感染対策

- ① 会場において、手洗いや咳エチケット（常時マスク着用）などの基本的な感染症対策を徹底するよう指導する。特に、会場出入り口やコート入り口（テニスコート毎も可）にはアルコール消毒薬を設置し、トイレにポンプ式の石鹸等準備する。
- ② 競技中の水分補給に関してはチーム共用を禁止とし、個人のものを使用する。
- ③ 競技における適切な環境の保持のため、会場内（クラブハウスや更衣室等）の換気（できれば2方向の窓を同時に開ける）の徹底。空調や衣服による温度調節を含めて、温度、湿度管理に努める。
- ④ 人が集まる場所（待機場所）では社会的距離2メートルを保ち待機させる。
- ⑤ 共有物の適正な管理又は消毒を徹底する。
- ⑥ 競技中は以下の点に留意すること。
 - ・選手どうし（パートナー、対戦相手、監督）間の距離を2m確保し、握手やハイタッチ、肩を組むなどの身体接触は行わないこと（団体戦開始前の応援歌の斉唱等や身体接触を伴う円陣は禁止する。円陣を行う場合は相互の距離を2m程度とり、大声を出さないよう行うこと）。
 - ・監督の応援の発声はできるだけ控え、大声にならないよう配慮すること。
 - ・近距離での会話や発声はしないこと。
 - ・タオルや飲料などの共用はしないこと。
 - ・ボールなどの必要なもの以外にはできるだけ触れないようにすること。
 - ・応援も相互の距離を2m程度とりは拍手のみで行うこと。

(4) 健康観察の実施

大会に参加するすべての者（選手、顧問、大会役員等、会場に入るすべての者）の検温を実施。

- ① 特に選手は引率者が責任をもって検温結果を確認し、大会本部に報告する。
※選手以外の確認方法は各ブロックで定め、事前に周知する。
- ② 引率者は、試合前に選手の健康状況（含む検温状況）を確認し、体調不良の選手については保護者及び学校管理職に連絡の上参加させないようにする。選手の健康状況については、引率者から専門委員長に報告し、専門委員長は大会運営に支障がある場合にはその結果を各ブロック理事長に報告する。（県大会の場合は理事長に報告する）

(5) 開会式・閉会式について

開・閉会式は実施しない。

(6) 抽選会・顧問会議について

- ① 顧問会議については、感染拡大防止の観点を踏まえ、可能な限り文書又は電話等での連絡で行う。実施の必要がある場合は可能な限り少人数・短時間で行う。
- ② ドロー作成は公平性が保たれる最低人数で行う。

(7) 部員又は部顧問（関係指導者）の感染が判明した場合の考え方

1) 大会前

- ① 部員又は部顧問の感染が判明した場合には、当該部員、顧問また、濃厚接触者と特定された者の出場は認めない。
- ② 団体戦においては、最初の試合が始まる前までの参加申込後の選手交代を認める。
- ③ 個人競技においては欠場とする。（補欠の繰り上げ出場は認める。）
※出場選手の差し替えができる期限は各ブロックで定め、事前に周知する。

2) 大会期間中

- ① 発熱等の症状がみられる場合、大会出場を認めない。
- ② 当日、急に症状が出た場合は、保護者及び各学校管理職に連絡し帰宅させる。
- ③ 他の選手等への健康観察を徹底する。
※その後、新型コロナウイルスに感染したことが確認された場合は各学校や行政機関指示に従う。また、その経過等については、ブロック理事長を通じて高体連に報告する。県教育委員会と合議のうえ、その後の大会運営については中止することがある。

(8) 大会参加申込について

- ① 顧問は必ず、選手及び保護者から大会参加の同意書（原則として所定の様式を使用）を取り、校長責任のもと申し込みを行う。同意書は各学校で保管すること。
- ② 大会参加を強要することがないよう配慮する。

参考：

- ・福岡県高等学校体育連盟「大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン」（2020.6.4）
- ・日本テニス協会「JTA 公式テニストーナメント開催ガイドライン」（2021.3.9 改定）

2021.4.14 福岡県高等学校体育連盟テニス専門部 作成